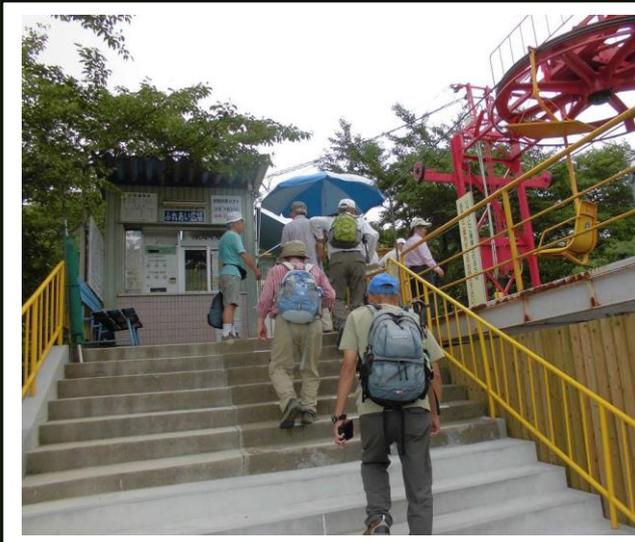


5.3 大阪の山(3)

2013年7月 能勢妙見山(1回目)



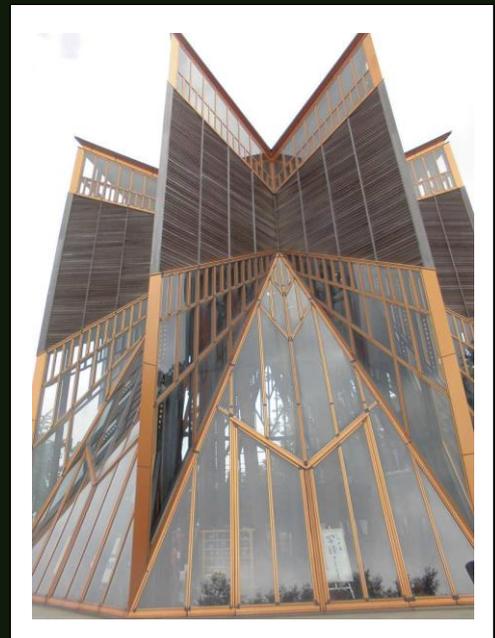
JR-能勢電-ケーブルリフトを乗り継いで山上へ



ちょうどアジサイの花がきれいな時でした。



山上の一角にあったガラス張りの建物、これ何でしたか？調べてみました。日蓮宗の信徒会館「星嶺」だそうです。





～池田炭の里～ 台場クヌギの森 案内板

この森は、7割以上がクヌギーコナラ林で、かつては、シイタケほだ木や、炭の生産林として活用されてきました。周辺では、現在も池田炭(菊炭)と呼ばれる高級な茶道用の炭の生産が行われています。池田炭の歴史は古く、非常に古くから生産・流通していたものと思われま

す。この森のクヌギーコナラ林は、長い間管理放棄され、北摂地方に特有の台場クヌギというクヌギの姿が見られなくなっていました。そこで、新たに台場クヌギとして再生し、台場クヌギの森をつくりました。ぜひ日本一の里山景観を満喫してください。

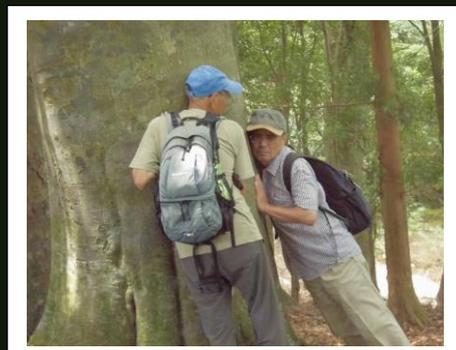
またこの森では、妙見の水広場周辺で春の美しい桜満開の景観が楽しめるほか、秋には紅葉なども楽しめます。妙見山に隣接してブナ林も見られ、大変に豊



台場(だいば)クヌギは、根元から伐採してしまうことなく、切ったところから新芽が育ち成長を繰り返してきた炭の管理原木です。



“池田の菊炭”の名で今は茶道の世界で高級贈答品として扱われているそうです。地域のイベント“正月飾りづくり”用に使ったことがあります。贈答用と書かれたきれいな箱に入っていましたが高価でした。写真はそのときの参加者が作った《正月飾り》
左：菊炭 右：稲穂や紅白紐で作った



樹の導管から吸い上げられる水分の音を聞こうと挑戦。子どもたちのイベント用に買ってある聴診器を持ってくればよかったなあ。



このコースの魅力は、やはり缶ビールを飲みながらのバーベキュー。

2010年8月 能勢妙見山 (2回目)



何を見つけたんでしたか？



「ともこさん」はどんな場面でそう思うのでしょうかねえ。



待ち遠しいひととき



妙見山のブナ林
(大阪府天然記念物)

- ・ 妙見山のブナ林は、山周辺一帯700～800年前からはえている木であり、木の周り3mほどの大きな木で、約400本でブナ林をつくっています。
- ・ ブナ林は、西南日本ではふつうは山の高さが1,000m以上にはえています。
- ・ 妙見山では、山の高さが660mと低い山で、600mぐらいいはえているこの妙見山のブナ林は日本での南限として知られています。